

金沢市雨水出水浸水想定区域図 (想定最大規模：最大浸水深)

位置図



浸水深

- 5.0m以上の浸水深
- 3.0m以上5.0m未満の浸水深
- 0.5m以上3.0m未満の浸水深
- 0.5m未満の浸水深

- 河川等
- 市町境界
- 解析対象範囲

1) 説明文

- この図は、金沢市において水防法の規定に基づく想定最大規模降雨が発生した場合に、浸水が想定される範囲やその深さを表した地図です。
 - この図は、指定時点の金沢市の下水道の整備状況、施設の状況等を勘案して、想定し得る最大規模の降雨（1時間降水量130mm）に伴う雨水出水により、内水氾濫が発生した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより求めたものです。
 - このシミュレーションの実施にあたっては、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、津波、高潮、洪水（河川の破堤または越水）による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深・浸水継続時間が実際と異なる場合があります。
 - 下水道計画区域外のため、匠王山地区、湯涌校下は内水浸水想定の対象範囲外となっています。
- #### 2) 基本事項等
- 作成主体：金沢市
 - 指定年月日：令和7年6月10日
 - 指定の根拠法令：水防法（昭和24年法律第193号）第14条の2第2項
 - 指定の前提となる降雨：流域全体に24時間総雨量813mm、ピーク時の1時間に130mmの降雨がある場合
 - 浸水想定手法：浸水シミュレーション[降雨損失・氾濫解析のみを実施（下水道等の排水能力は一定で考慮）]
 - 境界条件：金沢港・日本海に排水する排水区は潮位上昇による排水不良を考慮
 - その他計算条件等：対象区域を約25mメッシュに分割し、メッシュごとの浸水深を計算したうえで、計算結果を約5mメッシュ地形モデルに落とし込み、対象区域の浸水深を表現
- #### 3) 備考
- この図で色がついていない場所は、計算上では浸水が10cm未満あるいは浸水しない場所です。しかし、雨の降り方によってはこの図に示されていない場所でも浸水する可能性があり、浸水深も深くなる場合がありますので注意してください。
 - 水害時において避難や水防活動を開始するタイミングは、お住いの状況等により異なることから、自らの判断で適切に行動してください。

金沢市土木局河川水防課 令和7年6月

S=1:25000(A1)